

普及活動情勢報告（令和6年4月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

夏秋ピーマンで稼ごう！ ～夏秋ピーマン部会栽培講習会および出荷検討会～



栽培講習会の様子

4月22日、JA職員と連携してJA高知県四万十夏秋ピーマン部会の生産者31名を対象に、栽培講習会と出荷検討会を開催しました。

普及所からは、定植前後の基本的な栽培管理、農薬の適正使用について情報提供しました。

参加者からは、新規栽培者への農薬散布方法の指導もお願いしたいとの提案がありました。

普及所では、栽培管理や経営指導等、様々な視点から夏秋出荷ピーマンの栽培支援を続けていきます。

土壌病害を減らそう！ ～露地ショウガにおけるバイオフィューミゲーションの検討～



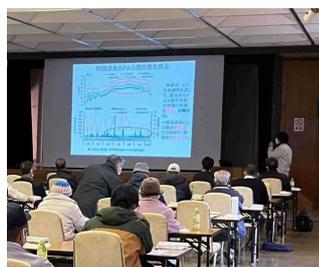
普及指導員によるは種

4月19日、ショウガの根茎腐敗病発生ほ場において'カラシナ'をは種し、バイオフィューミゲーション（生物的くん蒸）の実証を開始しました。

カラシナは土壌にすき込む事で土壌病害抑制効果のあるガスを発生させることから緑肥作物として利用されています。実証に協力していただいた農家からは、根茎腐敗病対策技術として期待しているという声がありました。

普及所では、ショウガの病害抑制技術の確立を目指して、7月の被覆作業（くん蒸）に向けて準備していきます。

ブランド米「にこまる」の安定生産を目指そう ～エコ栽培米生産部会 栽培検討会～



栽培検討会の様子

4月23日、JA高知県四万十エコ栽培米生産部会の栽培検討会が開催され、生産者13名が参加しました。

検討会では、栽培基準、使用資材の確認や米卸とのWebでの意見交換が行われました。普及所からは、近年、増加傾向にあるイネカメムシ防除について情報提供しました。

生産者からは「米卸から、『昨年のお米はおいしかった』との声を直接聞くことができ励みになった。今年もおいしいお米づくりを継続したい。」、「イネカメムシの被害が全国で拡大傾向にあること、防除適期が出穂期であることが分かった。注意したい。」との声が聞かれました。

普及所は今後も「にこまる」の高品質安定生産を支援していきます。